

住まいの復興給付金制度

補修

住まいの復興給付金申請書

4 / 5 枚目

④ 給付申請額を計算してください。

④ 給付申請額 AとBのどちらか少ない方の金額が給付申請額となります。

A 被災住宅の床面積と、り災状況に応じた給付単価を掛けた額

住宅部分の床面積※1	契約時の消費税率※2	り災状況等	給付単価	被災住宅の床面積と、り災状況に応じた給付単価を掛けた額
90.00 m ²	8% の場合	<input type="checkbox"/> 全壊または流出	1,680円	A 百万 十万 万 千 , 124,000円 *千円未満切り捨て
		<input type="checkbox"/> 大規模半壊	1,650円	
		<input checked="" type="checkbox"/> 半壊または床上浸水	1,380円	
		<input type="checkbox"/> 一部損壊または床下浸水	840円	
		<input type="checkbox"/> 原子力災害による避難指示区域等内にある	1,680円	
	10% の場合	<input type="checkbox"/> 全壊または流出	2,800円	
		<input type="checkbox"/> 大規模半壊	2,750円	
		<input type="checkbox"/> 半壊または床上浸水	2,300円	
		<input type="checkbox"/> 一部損壊または床下浸水	1,400円	
		<input type="checkbox"/> 原子力災害による避難指示区域等内にある	2,800円	

※1 3/5枚目の③補修した被災住宅情報の床面積欄を記入。
(店舗・事務所等、住宅以外の用途を含む場合は住宅部分の床面積を記入。)

※2 契約した場合、契約日が一番古い契約書の消費税率としてください。

B 実際にかかった補修工事費の消費税の内、増徴分に相当する額

2 「住宅部分の床面積」が記入されていない

「住宅部分の床面積」には、補修工事を行った被災住宅の不動産登記事項証明書の表題部に記載されている、**被災時点の建物の床面積**（併用住宅などの場合、専有する住宅部分に限る）の合計を記入してください。

〇〇市〇〇区〇〇町△△△△番地△△ 全部事項証明書 (建物)

表題部	(主である建物の表示)	調剤	(主目)	不動産番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇
所在図番号	(主目)				
所在	宮城県〇〇市△△△△		(主目)		
家屋番号	り番5号		(主目)		
用途	の用途	の用途	の用途	原因及びその日付(登記の日付)	
居室	木造スレートふき2階建	1階	44	47	平成28年4月〇日新築
		2階	45	53	(平成28年4月〇日)

権利部 (甲区) (所有権に関する事項)

順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者のその他の事項
1	所有権移転	平成〇〇年〇月〇日 第〇〇〇号	所有者 〇〇〇〇〇〇〇〇△△△△△△△△△△ 区 第 〇 〇 号



【ご注意ください】

- ・店舗併用住宅や事務所、車庫、物置等の、専有する住宅部分以外を含む場合は、図面等で確認できる住宅部分の床面積を記入してください。
- ・東日本大震災以降に増築している場合は、**増築前の被災時点の被災住宅の不動産登記で確認できる床面積**を記入してください。
- ・未登記の場合は、H23年度の固定資産税の記載事項を証明する書類で、確認できる住宅部分の床面積を記入してください。

3 「契約時の消費税率」が選択されていない

補修工事の契約をした時点の消費税率に、必ずチェックをしてください。



【ご注意ください】

消費税率が5%での契約は、申請対象外です。

住まいの復興給付金制度

補修

住まいの復興給付金申請書

4 / 5 枚目

④ 給付申請額を計算してください。

④ 給付申請額 AとBのどちらか少ない方の金額が給付申請額となります。

A 被災住宅の床面積と、り災状況に応じた給付単価を掛けた額

住宅部分の床面積※1	契約時の消費税率※2	り災状況等	給付単価	被災住宅の床面積と、り災状況に応じた給付単価を掛けた額
	<input checked="" type="checkbox"/> 8% の場合	<input checked="" type="checkbox"/> 全壊または流出	1,680円	
		<input checked="" type="checkbox"/> 大規模半壊	1,650円	
		<input type="checkbox"/> 半壊または床	1,380円	

B 実際に支払った補修工事費の消費税の内、増税分に相当する額

消費税率が8%の場合

④ 実際を支払った補修工事費 (領収書の税込金額) $1,458,000$ 円

⑤ 実際を支払った補修工事費の税抜合計 $1,350,000$ 円

増税分 (増税3%) 0.03

⑥ 8%時 実際を支払った消費税増税分 $40,500$ 円

【税抜合計】= (実際を支払った補修工事費の税込合計 (C-1)) ÷ 1.08

消費税率が10%の場合

④ 実際を支払った補修工事費 (領収書の税込金額) $C-2$ 円

⑤ 実際を支払った補修工事費の税抜合計 $C-2 \div 1.10$ 円

増税分 (増税5%) 0.05

⑥ 10%時 実際を支払った消費税増税分 $D-2$ 円

【税抜合計】= (実際を支払った補修工事費の税込合計 (C-2)) ÷ 1.10

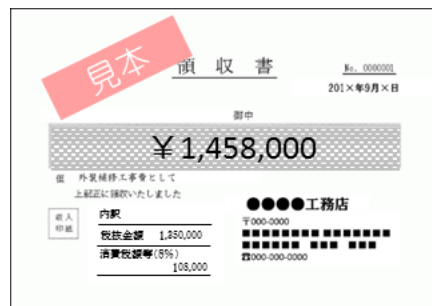
④ 実際を支払った消費税額が8%の場合 (D-1)の金額を記入、10%の場合 (D-2)の金額を記入。

⑤ 実際を支払った補修工事費の消費税の内、増税分に相当する額 B ,000円

補修工事費の支払いが、消費税率8%時と10%時にまたがった場合、それぞれの税抜金額から (D-1)と (D-2)の金額を計算した上で、その合計額を (B)に記入。

4 「実際を支払った補修工事費(税込金額)」が記入されていない

適用を受けている消費税率の該当する記入欄に、実際に支払った補修工事費(税込)の合計を記入してください。



5 「実際を支払った補修工事費(税抜金額)」が記入されていない

領収書に税抜き金額の記載がある場合には、その金額を記入してください。
記載がない場合には、**税込の補修工事費 ÷ 1.08 (消費税率8%時)** で計算した金額を記入してください。

6 「実際を支払った消費税増税分」が記入されていない

領収書に消費税額の記載がある場合には、その金額を記入してください。
記載がない場合には、**税抜きの補修工事費 × 0.03 (消費税率8%時)** で計算した金額を記入してください。